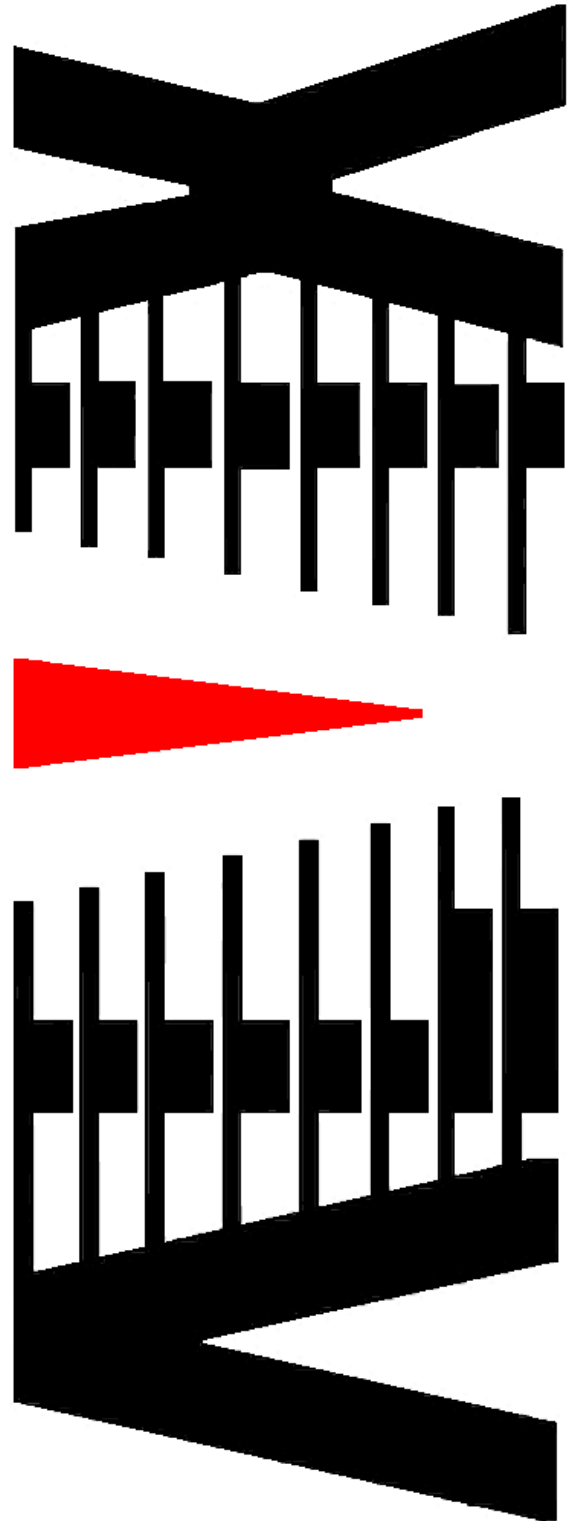


映像／音声エラー検出装置
B39-108R

管理ソフトウェア取扱説明書

Ver. 2. 0. 2. 0



目 次

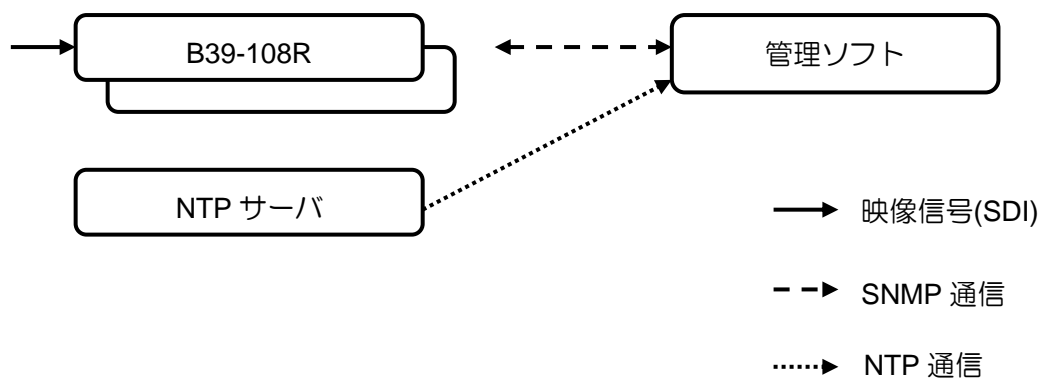
	ページ
1. 概要	1
2. 画面説明	2
2. 1 メイン画面	2
2. 2 工場出荷時設定	5
2. 3 設定保存	6
2. 4 システム	7
2. 5 IP アドレスと名称	9
2. 6 設定値	10
2. 7 時刻合わせ	11
2. 8 機器情報	12
2. 9 検索	14
2. 10 システムログ	15
2. 11 ヘルプ	16
2. 12 Bit モニター	17
3. 特記事項	19
3. 1 インストールフォルダにあるファイルについて	19

1. 概要

本書は「B39-108R」を複数台管理するソフトウェア（以下、管理ソフト）の取り扱いについて説明するものです。

管理ソフトは、B39-108R（以下、機器）の動作状態の管理、機器から通知される各種通知情報のロギング、機器に対する調整・設定を行う機能を持っています。

以下にシステム概要を示します。



※B-39-108R の各系統への入力は ARIB STD-B39 信号及び SCTE104 信号どちらかとなります

2. 画面説明

2. 1 メイン画面

管理ソフトを起動した際に表示される画面です。

この画面では上段に機器の動作状態、下段に通知ログが表示されます。

通知ログはタブの切り替えにより ARIB STD-B39 信号ログ、SCTE104 信号ログの2通り表示します。

以下図2. 1-1に ARIB STD-B39 信号ログ、図2. 1-2に SCTE104 信号ログを記載します。

日付時刻(ms)	発局時刻	号機名称	系統名称	ボード	信号	NetQ	項1	項2	項3	項4	項5	項6	項7	項8	項9	項10	項11	項12	項13	項14	項15	項16	
2017/01/04 12:58:22:533	FF:FF:FF:FF	B39-108R-1	系統5			あり																	
2017/01/04 12:58:22:533	FF:FF:FF:FF	B39-108R-1	系統7	なし																			
2017/01/04 12:58:22:533	FF:FF:FF:FF	B39-108R-1	系統7		なし																		
2017/01/04 12:58:22:533	FF:FF:FF:FF	B39-108R-1	系統7		なし																		
2017/01/04 12:58:22:533	FF:FF:FF:FF	B39-108R-1	系統8	なし																			
2017/01/04 12:58:22:533	FF:FF:FF:FF	B39-108R-1	系統8		なし																		
2017/01/04 12:58:22:533	FF:FF:FF:FF	B39-108R-1	系統8		なし																		
2017/01/04 12:58:21:171	22:47:20:00	B39-108R-1	系統1				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2017/01/04 12:58:21:182	22:47:20:00	B39-108R-1	系統3				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2017/01/04 12:58:21:165	22:47:20:00	B39-108R-1	系統5				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統9	あり																			
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統9		HD																		
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統9		あり																		
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統11	なし																			
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統11		なし																		
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統11		なし																		
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統13	なし																			
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統13		なし																		
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統13		なし																		
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統15	なし																			
2017/01/04 12:58:23:698	FF:FF:FF:FF	B39-108R-2	系統15		なし																		
2017/01/04 12:58:31:182	22:47:30:00	B39-108R-1	系統1				1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2017/01/04 12:58:31:193	22:47:30:00	B39-108R-1	系統3				1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2017/01/04 12:58:31:175	22:47:30:00	B39-108R-1	系統5				1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2017/01/04 12:58:30:417	22:47:30:00	B39-108R-2	系統9				1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図2. 1-1 メイン画面 (ARIB STD-B39 信号表示)

- ・日付時刻 … イベント発生時の時刻(末尾は ms 表現)です。
- ・発局時刻 … イベント発生時の発局時刻(末尾はフレーム数)です。
- ・号機名称 … 各号機に設定した名称を表示します。
- ・系統名称 … 各系統に設定した名称を表示します。
- ・ボード … 機器の検知ボードの有無状態を表します。
- ・信号 … 入力信号の状態を表します。
- ・NetQ … NetQ 信号の有無状態を表します。
- ・項1~16 … 設定値にて設定した項目グループのステータスを表示します。

B39-108R 管理ソフトウェア Ver2.0.1.0

ファイル(F) 設定(W) 参照(S) ログ(Y) ヘルプ(Z)

B39-108R-1 B39-108R-2

ARIB STD-B39 SCTE104

検索 ログ保存フォルダを開く

日付時刻(ms)	号機名称	系統名称	通知	Size	Number	EventID	ProgramID	プリロールタイム	Duration	Flag
2017/01/04 13:13:04:077	B39-108R-2	系統10	【Normal】 Start <0x0101_1>	30	227	00001ABA	1ABA	1867	0	00
2017/01/04 13:13:04:144	B39-108R-2	系統10	【Normal】 Start <0x0101_1>	30	228	00001ABA	1ABA	1800	0	00
2017/01/04 13:13:08:686	B39-108R-1	系統2	alive_Request_Data <0x0003>	13	226	-	-	-	-	-
2017/01/04 13:13:08:686	B39-108R-1	系統4	alive_Request_Data <0x0003>	13	226	-	-	-	-	-
2017/01/04 13:13:08:745	B39-108R-1	系統6	alive_Request_Data <0x0003>	13	229	-	-	-	-	-
2017/01/04 13:13:08:565	B39-108R-2	系統10	alive_Request_Data <0x0003>	13	229	-	-	-	-	-
2017/01/04 13:13:14:125	B39-108R-1	系統2	【Normal】 End <0x0101_3>	30	227	00001ABA	1ABA	2000	0	00
2017/01/04 13:13:14:125	B39-108R-1	系統4	【Normal】 End <0x0101_3>	30	227	00001ABA	1ABA	2000	0	00
2017/01/04 13:13:14:134	B39-108R-1	系統6	【Normal】 End <0x0101_3>	30	230	00001ABA	1ABA	2000	0	00
2017/01/04 13:13:13:955	B39-108R-2	系統10	【Normal】 End <0x0101_3>	30	230	00001ABA	1ABA	2000	0	00
2017/01/04 13:13:14:192	B39-108R-1	系統2	【Normal】 End <0x0101_3>	30	228	00001ABA	1ABA	1933	0	00
2017/01/04 13:13:14:259	B39-108R-1	系統2	【Normal】 End <0x0101_3>	30	229	00001ABA	1ABA	1867	0	00
2017/01/04 13:13:14:325	B39-108R-1	系統2	【Normal】 End <0x0101_3>	30	230	00001ABA	1ABA	1800	0	00
2017/01/04 13:13:14:192	B39-108R-1	系統4	【Normal】 End <0x0101_3>	30	228	00001ABA	1ABA	1933	0	00
2017/01/04 13:13:14:258	B39-108R-1	系統4	【Normal】 End <0x0101_3>	30	229	00001ABA	1ABA	1867	0	00
2017/01/04 13:13:14:325	B39-108R-1	系統4	【Normal】 End <0x0101_3>	30	230	00001ABA	1ABA	1800	0	00
2017/01/04 13:13:14:201	B39-108R-1	系統6	【Normal】 End <0x0101_3>	30	231	00001ABA	1ABA	1933	0	00
2017/01/04 13:13:14:268	B39-108R-1	系統6	【Normal】 End <0x0101_3>	30	232	00001ABA	1ABA	1867	0	00
2017/01/04 13:13:14:334	B39-108R-1	系統6	【Normal】 End <0x0101_3>	30	233	00001ABA	1ABA	1800	0	00
2017/01/04 13:13:14:022	B39-108R-2	系統10	【Normal】 End <0x0101_3>	30	231	00001ABA	1ABA	1933	0	00
2017/01/04 13:13:14:088	B39-108R-2	系統10	【Normal】 End <0x0101_3>	30	232	00001ABA	1ABA	1867	0	00
2017/01/04 13:13:14:155	B39-108R-2	系統10	【Normal】 End <0x0101_3>	30	233	00001ABA	1ABA	1800	0	00
2017/01/04 13:13:18:697	B39-108R-1	系統2	alive_Request_Data <0x0003>	13	231	-	-	-	-	-
2017/01/04 13:13:18:696	B39-108R-1	系統4	alive_Request_Data <0x0003>	13	231	-	-	-	-	-
2017/01/04 13:13:18:756	B39-108R-1	系統6	alive_Request_Data <0x0003>	13	234	-	-	-	-	-
2017/01/04 13:13:18:577	B39-108R-2	系統10	alive_Request_Data <0x0003>	13	234	-	-	-	-	-

図2. 1-2 メイン画面 (SCTE104 信号表示)

- 日付時刻 … イベント発生時の時刻(末尾は ms 表現)です。
- 号機名称 … 各号機に設定した名称を表示します。
- 系統名称 … 各系統に設定した名称を表示します。
- 通知 … 通知内容を表示します。
- Size … message_size
- Number … message_number
- EventID … splice_event_id
- ProgramID … unique_program_id
- プリロールタイム … pre_roll_time
- Duration … break_duration
- Flag … auto_return_flag

【機器ボタンの表示内容について】

各機器の動作状態は正常時は色無しの表示ですが、ヘルスチェックエラーが発生すると以下の様に赤表示に変化し、復帰した時は黄色に変化します。



パネル内の緑色部分は機器のステータスを表します。

機器にシステムエラーが発生すると赤表示に、復帰時は黄色に変化します。

黄色時にパネルをクリックすると通常色に戻ります。

系統名称上の8つの表示エリアは各系統の同期状態を表します。



同期状態が「なし」または「不明」時に赤点灯、赤点灯状態から同期が復帰（HD-SDI）した時に黄色に変化します。

黄色時にクリックすると色無し状態に遷移します。

機器ボタンの色変化上をオンマウスする事により発生原因及び系統名などをポップアップ表示します。

表示されているログ内容を消去するにはログ表示上で右クリックし、「ログ消去」を選択します。

2. 2 工場出荷時設定

本画面では機器を工場出荷時の設定に戻す制御を行います。

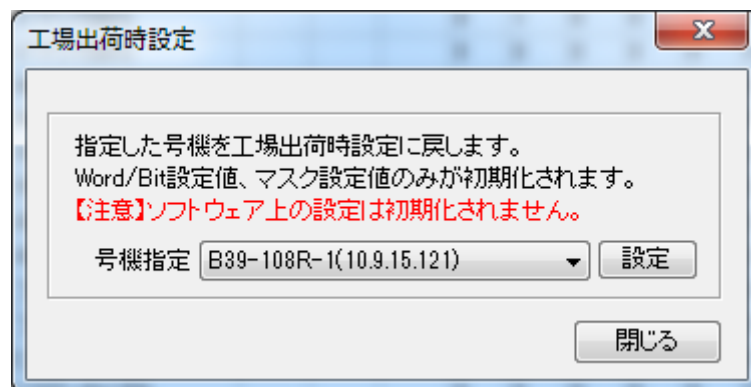


図2. 2 工場出荷時設定

① 本画面の表示

メニューバーの「ファイル」→「工場出荷時設定」をクリックします。

② 制御

実行したい号機をコンボボックスから選択し、「設定」ボタンをクリックします。

Word/Bit 値、マスク値のみが工場出荷時の値に初期化されます。

他の設定値については変更されませんのでご注意願います。

通常は設定値画面の初期化機能を使用してください。

機器の設定は工場出荷状態に初期化されますが、管理ソフトの設定は初期化されません。

設定値画面の初期化機能はソフトウェアの設定も同時に更新されます。

2. 3 設定保存

メニューからの選択により、機器の設定情報を CSV ファイルに出力します。

① 制御

メニューバーの「ファイル」→

「全号機、全系統の Word/Bit 値、マスク値をファイルに出力する」をクリックします。

以下に表示される保存ダイアログに従い保存を実行します。

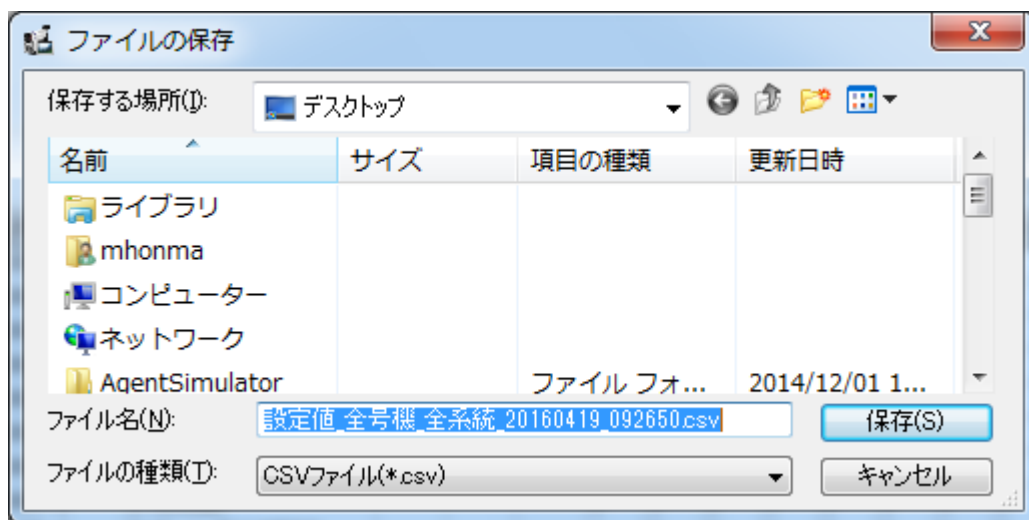


図2. 3 設定保存ダイアログ

ログの解析時など、設定値を参照しながらの作業に向けた機能です。

2. 4 システム

本画面ではシステム設定を行います。

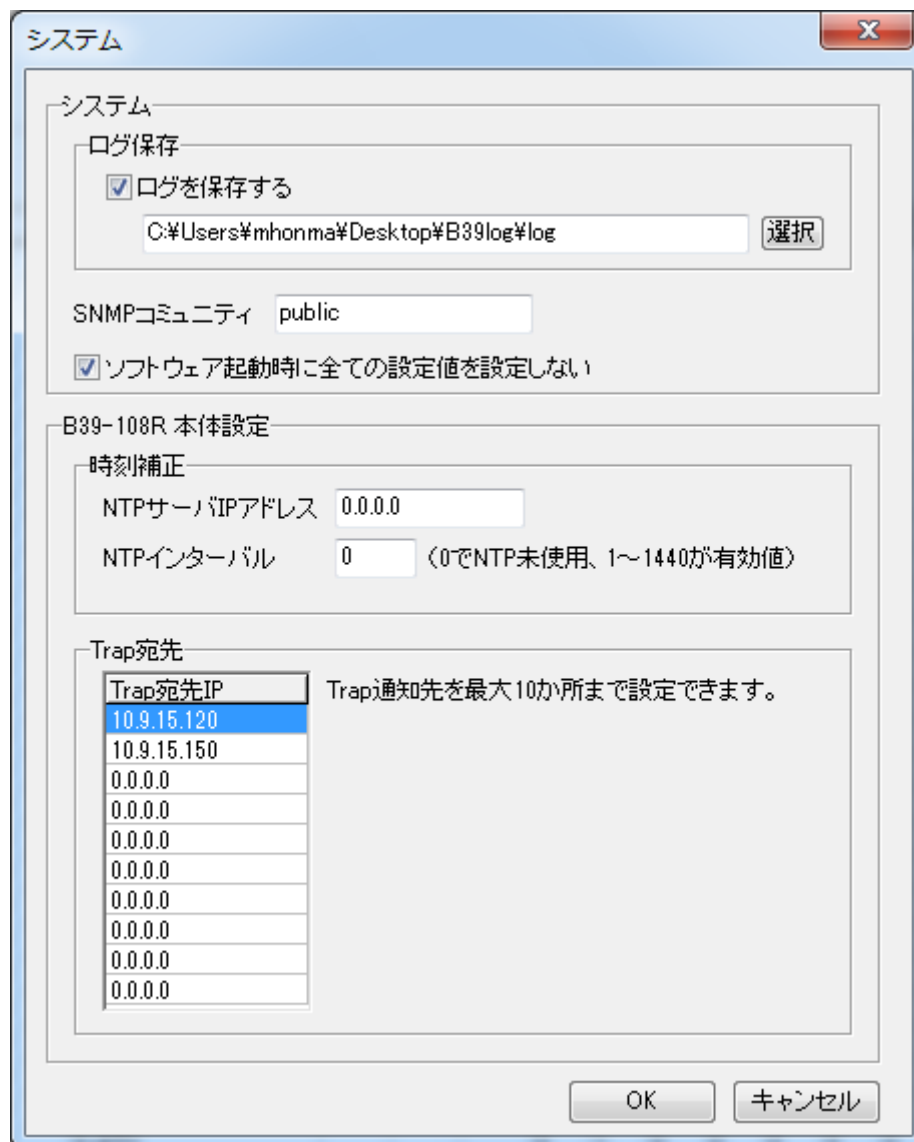


図2. 4 システム

- ① 本画面の表示
メニューバーの「設定」→「システム」をクリックします。
- ② 設定
ログ保存
「ログを保存する」→チェックすると指定フォルダにログを作成します。

「フォルダ指定」→ログを保存するフォルダを指定します。

「SNMP コミュニティ」—SNMP 通信で使用するコミュニティ名称を指定します。

ここでの設定は管理ソフト上のみ有効となります。

変更の際は機器のコミュニティ名称も変更する必要があります。

「ソフトウェア起動時に全ての設定値を設定しない」—

チェックを付けると管理ソフト起動時に機器に対する設定を行いません。

システム稼働状態で、設定動作を行いたくない時などに選択します。

「NTP サーバ IP アドレス」—機器が NTP 動作を行う時の NTP サーバを指定します。

管理ソフトの NTP サーバ指定は「時刻合わせ」画面で指定します。

「NTP インターバル」—機器が NTP サーバに問い合わせを行うインターバルを指定します。

インターバル値を 0 で設定すると機器は NTP 問い合わせ動作を行いません。

「Trap 宛先」—機器から Trap を通知する宛先の IP アドレスを指定します。

最大 10 か所まで Trap を通知できます。

2. 5 IPアドレスと名称

本画面では機器のIPアドレス指定と号機番号、系統名称を設定します。

IPアドレスと名称

IPアドレス変更時には再起動が必要となります。

No.	IPアドレス	号機名称
1	10.9.15.196	B39-108R-1
2	10.9.15.199	B39-108R-2
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

No.	系統名称
1	系統1
2	系統2
3	系統3
4	系統4
5	系統5
6	系統6
7	系統7
8	系統8

1台分設定後、適用して下さい。

OK キャンセル 適用

図2. 5 IPアドレスと名称画面

① 本画面の表示

メニューバーの「設定」→「IPアドレスと名称」をクリックします。

② 設定

「IPアドレス」「号機名称」「系統名称」をダブルクリックし編集状態とし、設定を行います。

ここで設定した名称が画面上やログ表示で使用されます。

系統名称については1台分を設定後、「適用」をクリックしてください。
適用前に号機を変更すると編集内容が破棄されます。

2. 6 設定値

本画面では機器に対する設定値を設定します。

設定値

機種選択 B39-108R-1

系統1-B39 系統2-SCTE 系統3-B39 系統4-SCTE 系統5-B39 系統6-SCTE 系統7-B39 系統8-B39

制御信号種別 ARIB STD-B39

入力タイミングの通知 する

NetQ有無の通知 する

設定変更時、タブ毎に適用を実行してください。適用を行わずに機種選択、タブ選択を行うとそれまでの変更は破棄されます。

項目	項1	項2	項3	項4	項5	項6	項7	項8	項9	項10	項11	項12	項13	項14	項15	項16
Word	15	30	31	31	31	31	31	31	31	31	32	32	32	32	32	32
Bit	4	3	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5
マスク	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

Word : 1~248
Bit : 0~7
マスク : 0(通知しない)~1(通知する)

表示中のタブのデータを初期化

OK キャンセル 適用

図2. 6-1 設定値 (ARIB STD-B39 設定)

設定値

機種選択 B39-108R-1

系統1-B39 系統2-SCTE 系統3-B39 系統4-SCTE 系統5-B39 系統6-SCTE 系統7-B39 系統8-B39

制御信号種別 SCTE104

入力タイミングの通知 する

SCTE104信号検知を 通知する(全)パケット

設定変更時、タブ毎に適用を実行してください。適用を行わずに機種選択、タブ選択を行うとそれまでの変更は破棄されます。

表示中のタブのデータを初期化

OK キャンセル 適用

図2. 6-2 設定値 (SCTE104 設定)

① 本画面の表示

メニューバーの「設定」→「設定値」をクリックします。

② 設定

機種選択コンボボックス、系統のタブを指定し、設定内容を編集します。

タブ上で右クリックを行うと編集メニューがポップアップします。

表示中のタブ内データコピーやペースト動作が行えます。

設定内容については表示されている画面上の編集が終了したら「適用」をクリックします。
「適用」をクリックせずに他の号機、系統に変更した場合は編集内容が破棄されます。

以下は ARIB STD-B39 信号の設定時のみです。

グリッド内をダブルクリックすることで編集状態になります。

ここで設定する項 1~16 がメイン画面上のログに表示される項と同一となります。

2. 7 時刻合わせ

本画面では管理ソフトが行う時刻補正を設定します。

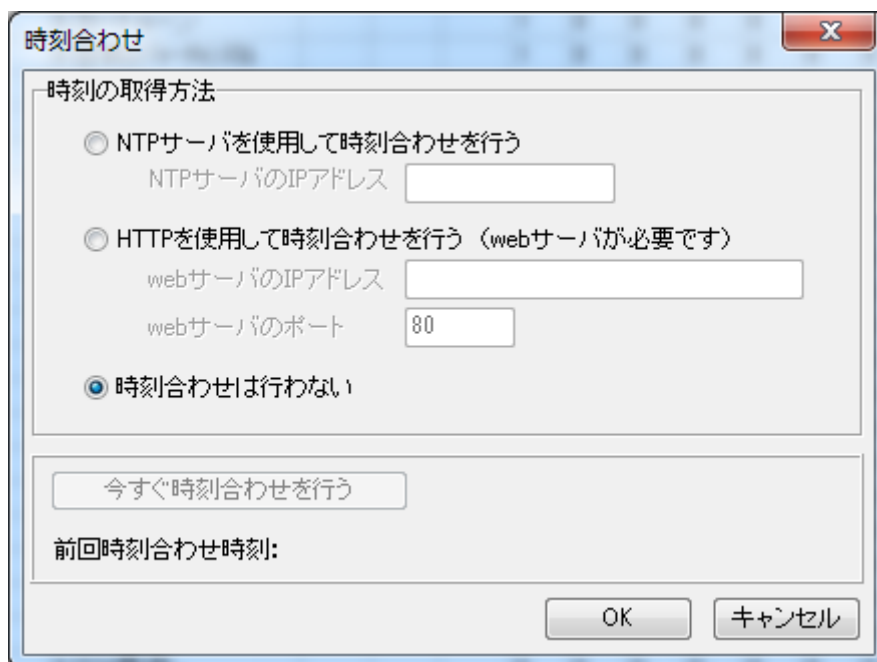


図2. 7 時刻合わせ画面

① 本画面の表示

メニューバーの「設定」→「時刻合わせ」をクリックします。

② 設定

NTPサーバを使用する場合は「NTPサーバを使用して時刻合わせを行う」を選択します。
NTPサーバのIPアドレスを設定し、「OK」をクリックします。

「今すぐ時刻合わせを行う」をクリックすると即時NTPサーバへの問い合わせを行い、
管理ソフトの稼働しているPCにシステム時刻として設定します。

機器への時刻合わせを行う周期は30分をデフォルト値としていますが、この周期は
インストールフォルダ配下の「setinfo」フォルダ内にある、設定ファイル
(Project.ini)の[System] TimeSetCycleの値を編集する事で変更できます。
単位はミリ秒指定となります。

(30分を指定する場合、1800秒のミリ秒指定で1800000となります)

※本システムに於いてはWindows10に標準実装されているWindowsTimeServiceを
使用して時刻合わせを行っていますので、当機能は使用していません。

2. 8 機器情報

本画面では機器の情報を取得し、参照します。

機器情報

号機指定 B39-108R-1 取得

システム

項目名称	戻り値
NetファームVer	V04
機器名称	B39-108R
FPGA Ver[1]	V03
FPGA Ver[2]	V03
FPGA Ver[3]	V03
FPGA Ver[4]	V03
FPGA Ver[5]	V03
FPGA Ver[6]	V03
FPGA Ver[7]	---
FPGA Ver[8]	---
ファーム Ver[1]	V03
ファーム Ver[2]	V03
ファーム Ver[3]	V03
ファーム Ver[4]	V03
ファーム Ver[5]	V03
ファーム Ver[6]	V03
ファーム Ver[7]	---
ファーム Ver[8]	---
機器現在時刻	2017/01/04 13:27:33.994
NTP IPアドレス	0.0.0.0
NTP 間隔(分)	0
NTP ステータス	2
Trap宛先[1]	10.9.15.157
Trap宛先[2]	10.9.15.150
Trap宛先[3]	0.0.0.0
Trap宛先[4]	0.0.0.0
Trap宛先[5]	0.0.0.0
Trap宛先[6]	0.0.0.0
Trap宛先[7]	0.0.0.0
Trap宛先[8]	0.0.0.0
Trap宛先[9]	0.0.0.0
Trap宛先[10]	0.0.0.0
本体ステータス	0

ステータス

系統1-B39 系統2-SCTE 系統3-B39 系統4-SCTE 系統5-B39 系統6-SCTE 系統7 系統8

ARIB STD-B39設定値

項目	項1	項2	項3	項4	項5	項6	項7	項8	項9	項10	項11	項12	項13	項14	項15	項16
Word	15	30	31	31	31	31	31	31	31	31	32	32	32	32	32	32
Bit	4	3	0	1	2	3	4	5	6	7	0	1	2	3	4	5
マスク	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

ARIB STD-B39ステータス

日付時刻	発局時刻	データ	項1	項2	項3	項4	項5	項6	項7	項8	項9	項10	項11	項12	項13	項14	項15	項16
170104132810939	28172000	0000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

情報と設定

メインボード有無 1 0:ボードなし 1:ボード有り

入力信号のタイミング 2 0:同期なし 2:HD-SDI 4:unknown 入力タイミングマスク通知 1 0:通知しない 1:通知する

NetQの信号の有無 1 0:NetQ無し 1:NetQ有り NetQマスク通知 1 0:通知しない 1:通知する

取得時刻: 2017/01/04 13:27:34.139

閉じる

図2. 8-1 機器情報画面 (ARIB STD-B39 信号表示)

機器情報

号機指定 B39-108R-1 取得

システム

項目名称	戻り値
NetファームVer	V04
機器名称	B39-108R
FPGA Ver[1]	V03
FPGA Ver[2]	V03
FPGA Ver[3]	V03
FPGA Ver[4]	V03
FPGA Ver[5]	V03
FPGA Ver[6]	V03
FPGA Ver[7]	---
FPGA Ver[8]	---
ファーム Ver[1]	V03
ファーム Ver[2]	V03
ファーム Ver[3]	V03
ファーム Ver[4]	V03
ファーム Ver[5]	V03
ファーム Ver[6]	V03
ファーム Ver[7]	---
ファーム Ver[8]	---
機器現在時刻	2017/01/04 13:27:33.994
NTP IPアドレス	0.0.0.0
NTP 間隔(分)	0
NTP ステータス	2
Trap宛先[1]	10.9.15.157
Trap宛先[2]	10.9.15.150
Trap宛先[3]	0.0.0.0
Trap宛先[4]	0.0.0.0
Trap宛先[5]	0.0.0.0
Trap宛先[6]	0.0.0.0
Trap宛先[7]	0.0.0.0
Trap宛先[8]	0.0.0.0
Trap宛先[9]	0.0.0.0
Trap宛先[10]	0.0.0.0
本体ステータス	0

ステータス

系統1-B39 系統2-SCTE 系統3-B39 系統4-SCTE 系統5-B39 系統6-SCTE 系統7 系統8

SCTE104ステータス

Time	Size	Number	Type	opID	EventID	ProgramID	アノードタイム	Duration	Flag
170104132731090	30	148	3	0x0101	0x00001AE5	0x1AE5	1800	0	0x00

Type(Splice_Type) 0:reserved 1:spliceStart_normal 2:spliceSatrt_immediate 3:spliceEnd_normal 4:spliceEnd_immediate
opID 0x0003:alive_Request_Data 0x0101:splice_Request_Data 0x0003,0x0101以外:unknown

情報と設定

メインボード有無 1 0:ボードなし 1:ボード有り

入力信号のタイミング 2 0:同期なし 2:HD-SDI 4:unknown 入力タイミングマスク通知 1 0:通知しない 1:通知する

SCTEマスク通知 1 0:通知しない 1:通知する(全パケット) 2:通知する(解析不能パケットを除く)

取得時刻: 2017/01/04 13:27:34.139

閉じる

図2. 8-2 機器情報画面 (SCTE104 信号表示)

ステータス欄は各信号種別による表示に切り替わります。

① 本画面の表示

メニューバーの「参照」→「機器情報」をクリックします。

② 参照

「号機指定」コンボボックスを指定し、「取得」をクリックします。

タブを切り替える事により、指定系統のデータを取得し表示します。

系統名称は取得を実行する事により、自動的に信号別の名称('B39'、'SCTE')が付加されます。

2. 9 検索

本画面ではログの検索を行います。

検索

日付 2017/01/18 ~ 2017/01/18 ←すべて

時刻 0:00:00 ~ 23:59:59 ←すべて

ミリ秒の指定は000固定です。

系統名称 [] 系統名称が空白の時は表示中の信号種別で検索します。

解析不能レコードを除いて検索する(検索対象がSCTE104信号の時のみ)

OK キャンセル

図2. 9-1 検索画面

① 本画面の表示

メニューバーの「ログ」→「検索」をクリックします。

② 実行

日付、時刻を指定し、必要に応じて系統名称の指定など条件を付け「OK」をクリックします。

検索結果が以下の様に表示されます。(ARIB STD-B39 信号系統の表示例)

抽出ログ [すべての系統 日付範囲=2016/04/19 00:00:00~2016/04/19 23:59:59] レコード数=2536

ファイル(Z)	日付時刻(ms)	発局時刻	号機名称	系統名称	ホスト	信号	NetQ	項1	項2	項3	項4	項5	項6	項7	項8	項9	項10	項11	項12	項13	項14	項15	項16	
	2016/04/19 09:31:12:877	17:23:35.04	B39-108R-2	4 AXN HD 海外ドラマ				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:12:877	17:23:34.19	B39-108R-2	5 ファミリー劇場				0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:12:878	17:23:35.04	B39-108R-2	5 ファミリー劇場				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:12:877	17:23:34.19	B39-108R-2	6 ヒストリーチャンネル				0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:12:878	17:23:35.04	B39-108R-2	6 ヒストリーチャンネル				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:12:877	17:23:34.19	B39-108R-2	7 クラカオンテマンド				0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:12:877	17:23:35.04	B39-108R-2	7 クラカオンテマンド				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:12:877	17:23:34.19	B39-108R-2	8 FOX見逃し				0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:12:877	17:23:35.04	B39-108R-2	8 FOX見逃し				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:13:107	17:23:35.04	B39-108R-1	1 ティスカハリーチャンネル				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:13:106	17:23:35.04	B39-108R-1	2 WOWOWプライム				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:13:106	17:23:35.04	B39-108R-1	3 WOWOWシネマ				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:13:106	17:23:35.04	B39-108R-1	4 囲碁将棋チャンネル				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:13:105	17:23:35.04	B39-108R-1	5 カートゥーン				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:13:106	17:23:35.04	B39-108R-1	6 日本レジャーチャンネル				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:13:106	17:23:35.04	B39-108R-1	7 GAORA				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2016/04/19 09:31:13:106	17:23:35.04	B39-108R-1	8 ATX				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図2. 9-2 検索結果画面 (ARIB STD-B39 表示)

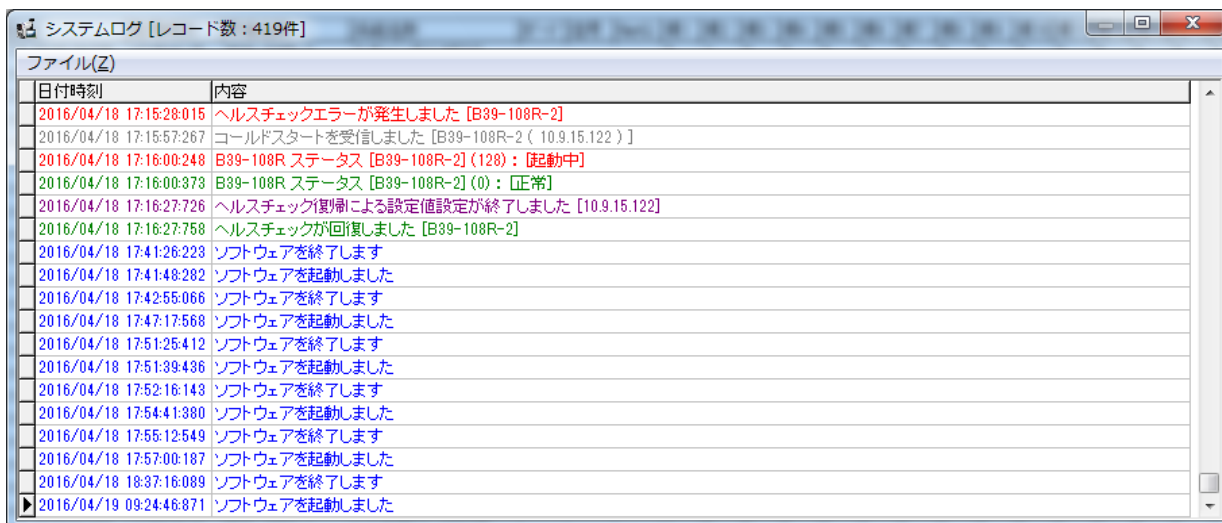
メニューバー→「ファイル」→「保存」にて結果をCSV ファイルに保存できます。

※検索時に系統名称を選択しなかった時はメイン画面に表示されているタブの信号種別に属する系統が全て検索されます。

ARIB STD-B39 に属する系統と SCTE104 に属する系統の混在で検索は行えません。どちらかの信号系統のみでの検索となります。

2. 10 システムログ

本画面ではシステムログの参照を行います。



システムログ [レコード数: 419件]

日付時刻	内容
2016/04/18 17:15:28.015	ヘルスチェックエラーが発生しました [B39-108R-2]
2016/04/18 17:15:57.267	コールドスタートを受信しました [B39-108R-2 (10.9.15.122)]
2016/04/18 17:16:00.248	B39-108R ステータス [B39-108R-2] (128): [起動中]
2016/04/18 17:16:00.373	B39-108R ステータス [B39-108R-2] (0): [正常]
2016/04/18 17:16:27.726	ヘルスチェック割断による設定値設定が終了しました [10.9.15.122]
2016/04/18 17:16:27.758	ヘルスチェックが回復しました [B39-108R-2]
2016/04/18 17:41:26.223	ソフトウェアを終了します
2016/04/18 17:41:48.282	ソフトウェアを起動しました
2016/04/18 17:42:55.066	ソフトウェアを終了します
2016/04/18 17:47:17.568	ソフトウェアを起動しました
2016/04/18 17:51:25.412	ソフトウェアを終了します
2016/04/18 17:51:39.436	ソフトウェアを起動しました
2016/04/18 17:52:16.143	ソフトウェアを終了します
2016/04/18 17:54:41.380	ソフトウェアを起動しました
2016/04/18 17:55:12.549	ソフトウェアを終了します
2016/04/18 17:57:00.187	ソフトウェアを起動しました
2016/04/18 18:37:16.089	ソフトウェアを終了します
2016/04/19 09:24:46.871	ソフトウェアを起動しました

図2. 10 システムログ画面

③ 本画面の表示

メニューバーの「ログ」→「システムログ」をクリックします。

④ 実行

メニューバーの「ファイル」→「保存」をクリックする事で内容を CSV ファイルに保存する事ができます。

システムログを消去するにはログ表示上で右クリックを行い、「ログ削除」を選択します。

2. 1 1 ヘルプ

本画面では管理ソフトのバージョン情報を表示します。

流5		U	U	U	U	U
流9	ARIB STD-B39 + SCTE104 信号検知装置					0
流1	[B39-108R]	0	0	0	0	0
流3	管理ソフトウェア	0	0	0	0	0
流5	Benno	1	0	0	0	0
流9	Ver 2.0.2.0	1	0	0	0	0
流1	アルビクス株式会社	0	0	0	0	0
流3		0	0	0	0	0
流5		0	0	0	0	0

図2. 1 1 バージョン情報画面

① 本画面の表示

メニューバーの「ヘルプ」→「バージョン」をクリックします。

② 消去

バージョン画面を消去するにはバージョン画面をクリックしてください。

③ 項目

ヘルプには他にも項目が存在しますが、システム確認用途ですのでご使用にならないようお願いいたします。

- メモリ最適化
- メモ表示

2. 1 2 Bit モニター

本画面では Bit モニター画面を表示します。

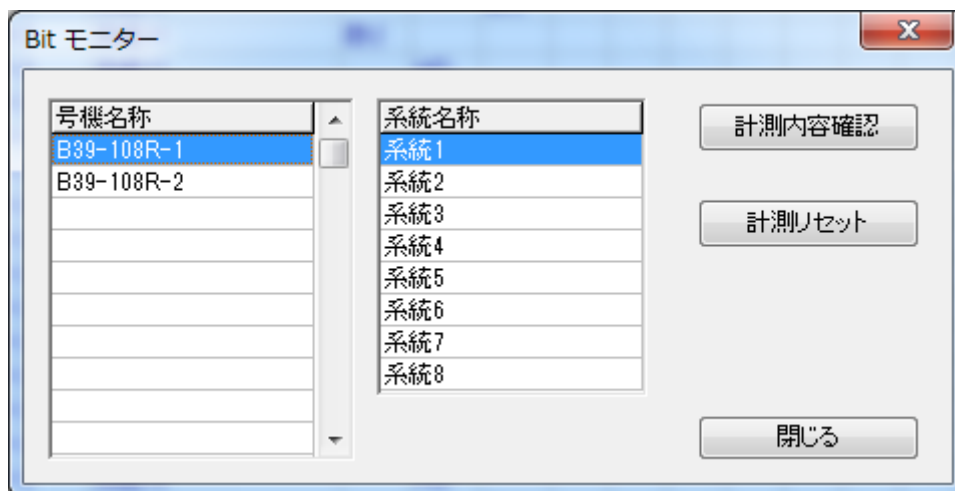


図2. 1 2-1 Bit モニター画面

① 本画面の表示

メニューバーの「ヘルプ」→「Bit モニター」をクリックします。

② 操作

各号機/各系統の Word/Bit 変化情報を累積し、変化のあった項目を表示します。

新規の信号を入力した時など、一定期間計測を行う事で変化があった Word/Bit 情報をビジュアルに参照できます。

この情報を元に設定値を決定する事が可能です。

「計測内容確認」ボタン … 号機名称、系統名称を選択し、実行する事で「計測内容確認」画面が表示されます。

「計測リセット」ボタン … 号機名称、系統名称を選択し、実行する事で本体内にて計測している変化累積情報をリセットします。

③ 消去

Bit モニター画面を消去するには「閉じる」をクリックしてください。

【計測内容確認画面】

号機名称、系統名称を指定し、「計測内容確認」ボタンをクリックすると表示されます。

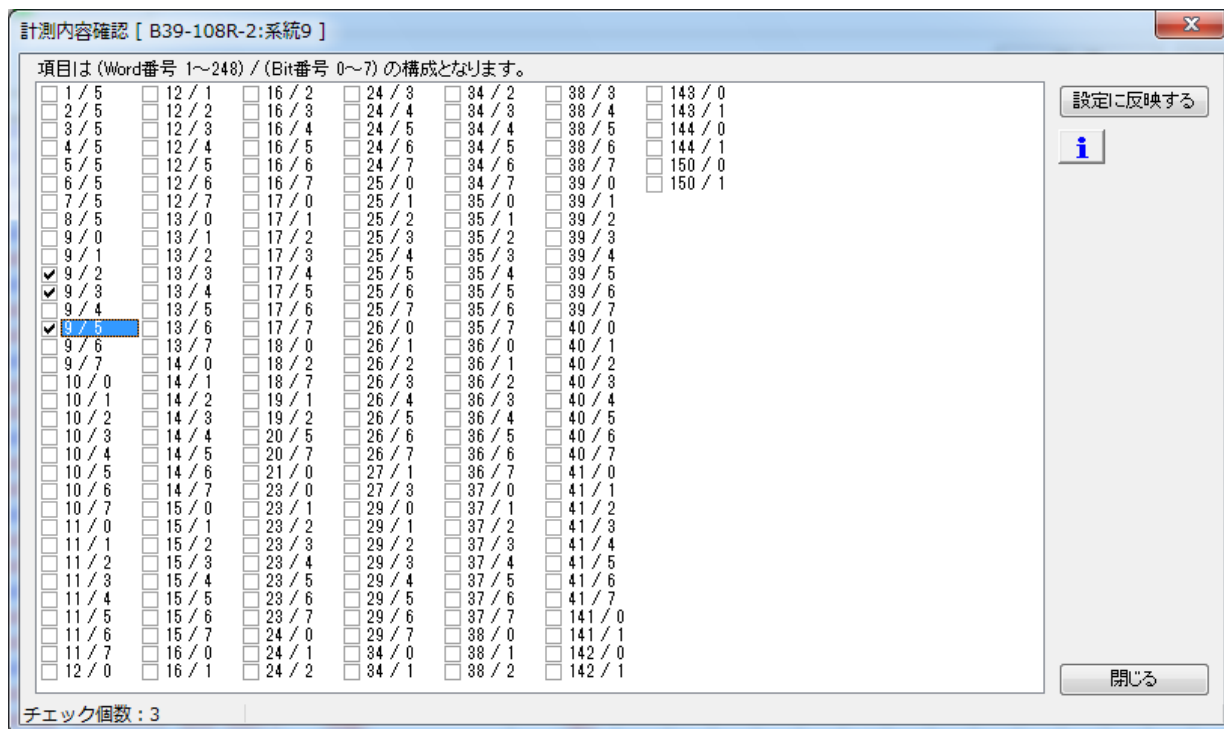
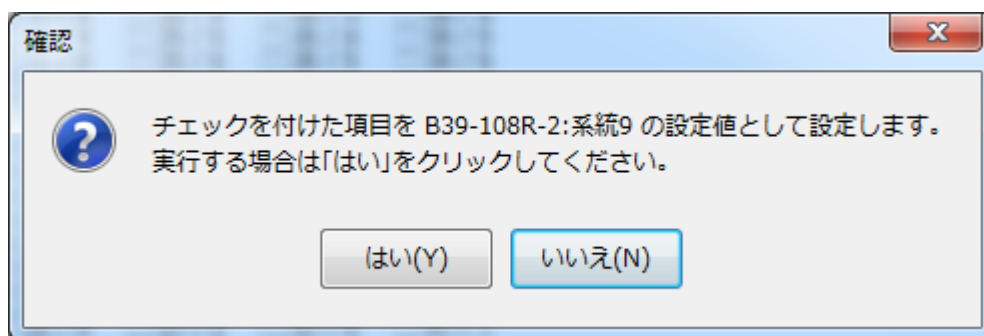


図2. 12-2 計測内容確認画面

計測リセットを実施されてからの Word/Bit 変化累積情報が表示されます。

Word/Bit 項目にはチェックボックスがあり、チェックを付けて「設定に反映する」ボタンをクリックする事で該当号機、系統に設定を反映する事が可能です。

「設定に反映する」ボタンクリック時は以下確認ダイアログが表示されます。



設定は左上から順番に行われますが、設定値の最大は16項目ですのでチェックを付けた項目数が16を超える場合、以降の項目は設定されず無視されます。

(チェックを付けた最初の16項目のみ設定に反映されます)

3. 特記事項

3. 1 インストールフォルダにあるファイルについて

インストールフォルダにあるファイルは管理ソフトで使用している重要なファイルです。
手動で編集、変更する事はお控えください。

改版履歴

日付	版数	改版内容
2016/04/28	1.0.0.0	新規作成
2017/01/05	2.0.0.0	SCTE104 信号処理の追加 2.1 メイン画面変更 <ul style="list-style-type: none"> ・信号別にタブ表示する ・ログ項目の説明を追加 2.5 設定値 <ul style="list-style-type: none"> ・系統毎に信号種別の項目を追加 ・SCTE104 信号の設定項目を追加 2.8 機器情報 <ul style="list-style-type: none"> ・系統の信号種別設定に基づいてステータス表示を変更 2.9 検索 <ul style="list-style-type: none"> ・信号別の検索を行う様変更 2.11 ヘルプ <ul style="list-style-type: none"> ・バージョン情報画面のタイトル、バージョン番号を変更
2017/01/18	2.0.1.0	バージョン変更のため画面差し替え 2.1 メイン画面 2.11 バージョン情報画面 検索条件の追加により検索画面変更 2.9-1 「解析不能レコードを除いて検索する」条件追加により画面変更
2017/08/08	2.0.2.0	SCTE マスクに解析不能/パケットを除く設定の追加 2.6 設定値 2.8 機器情報 バージョン変更のため画面差し替え 2.11 バージョン情報画面

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038